



横浜市青葉区歯科医師会

令和 5 年 6 月 役員退任の挨拶

前役員の皆様、2 年間お疲れ様でした

令和 3、4 年度の役員の皆様、二年間お疲れ様でした。

長きにわたりありがとうございました。

退任のあいさつをご紹介します。

横浜市青葉区歯科医師会

2023 年 8 月発行



前副会長 藤下義輝

皆様こんにちは、この度、鳥居会長のもと副会長を退任いたします藤下義輝です。

思い起こすに22年前、平成13年に青葉区歯科医師会に入会させていただき2年は新人として青山広報理事のもと広報部にて、今では御法度ですが箱根の温泉にカメラ持ち込み皆様の入浴シーンなど撮り記事書かせていただいたり。それから二年後には福本会長の下で厚生理事に就任させていただき3期6年やらせていただきました。B型肝炎予防接種の事業であるとかソフトボール大会の選手集めの大変さや新年会の執行や支部旅行の大変さ、特に緑区に加藤会長らと行った。合同事業、伊勢志摩周遊の旅など思い出深いことです。

その後佐氏会長の時に一期休ませていただいたのち、堀口会長から社保理事をお引き受けして、皆様の指導のお手伝いをさせていただいたり。

これも4期8年優秀な富岡先生の助けがなかったら務まらなかったと思います。そして前期の山本会長にお仕えしての専務理事の職も本当にいろいろな先生方に助けていただきました。コロナ過による感染予防対策や医師会とのコラボによる予防接種など大変であったなと思います。先生方に助けていただいたことで山本会長をお支え出来た事と思っております。そのちょっとした経験も皆様の少しでものお役に立てれば今度は鳥居会長にお返しできればと任をお引き受けした副会長でしたが、私事でございますが僧侶への道も重なり十分にお役に立てなかったこと残念に思います。

以上私の退任の御挨拶とさせていただきます。



前副会長 榎 聖二

この度、2年間ではありますが任期満了にて副会長の職を退任する事になりました。

在職中はCOVID-19の影響で会の事業もかなり縮小されていまして、長期離脱していた私でも何とか務める事が出来ると思いお引き受けしましたが結果的にはお役にはたてなく申し訳無い気持ちでございます。今後は執行部から

離れますがこの2年間の貴重な経験が無駄にする事の無い様、一会員として様々な事業に積極的且つ協力的に活動しようと思しますので宜しくお願い致します。

最後に鳥居執行部のますますのご活躍と歯科医師会の発展を祈りつつわたくしの退任の挨拶とさせていただきます。



前庶務理事 深田(河井) 里佳

この度、庶務理事を退任致します。

河井里佳、改め、深田里佳です。2年前、就任させて頂きました際には、ひとり庶務に加えて、入会してまだ2年ということもあり、不安でいっぱいでした。そんな中、沢山の先生方のお力添えを頂き、職務にだい

ぶ慣れてきた頃にプライベートの事でどうしても手が回らない状況に陥り、鳥居会長のご配慮で休職させて頂きました。ご迷惑をおかけしてしまいました事、この場を借りてお詫び申し上げます。2年の月日は、今、振り返るとあっという間にでした。思い起こせば、任期前半は、コロナ禍で思うように動けな

かったものの様々な事業があり、多忙ではありましたがとても充実しておりました。また、その活動を通じて、主人（深田健二前広報理事）との縁を頂きました。先生方に心より感謝しております。これからは一会員としてまた、新たな人生を歩んで参ります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。本当にどうもありがとうございました。



前社保理事 薦木 洋平

この度、社保の理事を退任することになりました。有難うございました。2年前に初めて理事を拝命し、それまでは、一会員であるだけで、会の仕事など殆ど知らずにいましたが。いざ中に入ると、地域における歯科医師会の重要性、役割、立場、会に求められている事など多くの事がある中で、鳥居会長、酒向専務をはじめ多くの先生方が懸命に仕事をされている事を目の当たりにし、頭が下がる思いです。また、そのような先生方のお陰で青葉区歯科医師会が成り立っていると思います。そして、会が継続、発展していくためには献身的な先生方の協力が必要であり、また積極的に活動していくには医院経営の安定は不可欠で、地域医療に対する強い志が必要であると感じました。今後とも宜しくお願い致します。



前学術理事 上妻 和幸

3期6年と勤めた学術理事をこの度退任いたします。

誰しもが経験したことのないコロナ禍にあって、学術講演会の開催というテーマはその重量を一気に増し、腰の重いものとなりました。「三密を避ける」という世間の重圧は、従来の学術講演会を「Webが伝えるモニター上の情報」に姿を替え、会場での活発だった相互ディスカッションの場を、一方的な「配信」というものに変化させました。いつの間にか常態化したその姿にいつも違和感を感じながらも、「新しい生活様式」という言葉が吹き交う世の中の風潮に、そんなもんかと無理やり飲み込んでまいりました。

しかし私達が人に伝え、そして人から贈られる言葉やプレゼンテーションには、演者の表情や言葉の抑揚、何より目を見て情熱を感じられる肌感覚が無ければ、その言葉の真意を十分に伝えることはできないものだと思います。

学術講演会とは伝える側も受ける側も、高い熱意の波長が相互に重なり合って成り立つものだと思います。その熱意を解されることのない何かしらの対策を立てられず、コロナ禍に学術委員会の活動をほぼ休止していたことを、今となってはとても悔やむこととなりました。

未曾有の事態となったこの数年、毎月開催される理事会においては、全ての理事が頭を抱え、時に紛糾することさえ有ながらも打開策・代用策を練っておりました。青葉区歯科医師会の熱意はここに有り、いつ明けるかも分からない世の情勢を鑑みて、できること決めることを粛々と執り行っていく中で活動できたことをとても誇りに感じます。

ポンコツ理事ではございましたが、皆様の熱い思いを肌で感じられたこと、大変感謝いたします。ありがとうございました。

新体制学術委員会は熱意を大切に、会館での活発なディスカッションを伴った講演事業を再開してくれるでしょう。また皆様と講演会でお会いできる日を楽しみにしております。



前厚生理事 村田賢二

2年間の厚生理事を退任することになりました。
就任時からコロナ禍(COVID-19)の中、新しい試みとして、オンラインツアーに取り組み、コロナ収束間近には新年会とデンタルショーのコラボ企画を手掛けさせて頂き駆け抜けて来ました。次年度には、3年ごし

の京都支部旅行も可能になるかもしれません。

右も左も分からず、駆け抜けた理事でした。青葉区歯科医師会とは、会員の努力が有ったの会ありがとうございます。会員、執行部、委員の皆様に感謝しお礼申し上げます。



前公衆衛生理事 前田仁

令和四年度の公衆衛生理事に任命頂きましたが、体調不良により、わずか約4ヶ月で辞任する事となりました。
鳥居会長を初め、執行部の先生方、そして中野理事には多大な御迷惑をおかけした事、深くお詫び申し上げます。

公衆衛生委員会は、市民への啓発事業の他、依頼を受けた講演会への講師派遣や行政との調整など、その業務が多岐に渡る事、そして会員の先生方の御尽力が不可欠な事を改めて知る事となりました。

短い在任期間でしたが、多くの先生方に、ご指導、ご助言を頂いた事を 厚く御礼申し上げます。



前広報理事 深田健二

この度、6月末で2期4年間の任期を終えて広報理事を退任いたしました。理事に就任して1年も経たない時期からコロナ禍でさまざまな事業が中止や延期になり広報誌の発行さえ危惧される状況になりました。当初は“Zoom”がなんのことさえ分からなかった2020年3月頃から3年以上経過してオンラインでの講習会やイベントが定番となりすっかり様変わりした昨今からすれば、全ての事業がアナログだった以前がはるか遠い昔のことのように思われます。任期の4年間の間に広報誌をなんとか毎年発行してきましたが執行部の先生方を始め会員の先生方にいろいろとご協力いただきましたこととお礼申し上げます。また引き続きまして記事の執筆などを依頼させていただくこともあるかと思いますので今後とも青葉区歯科医師会の広報活動にご協力をよろしくお願い申し上げます。



前地域医療理事 今村圭一郎

この度、青葉区歯科医師会の地域医療理事を退任することになりました。令和元年7月に前山本会長時に就任させていただき、令和3年度より鳥居会長のもと二期4年にわたり皆様と共に歯科医療の発展と地域の健康への貢献を目指し活動してまいりました。

歯科医師会の理事としての任期中、多くの経験と成果を得ることができこの素晴らしい組織の一員として、歯科医療の品質向上や地域の歯の健康への取り組

に関わることができたことを誇りに思います。任期中は、皆様からご協力あったの活動でした。改めてご協力いただき、心から感謝しております。

理事として青葉区歯科医師会の考えや執行の難しさ、遣り甲斐、達成感など、個人として成長できた時間は大変貴重でした。この4年過ごした日々は私の人生において忘れられないものとなりました。

今後も青葉区歯科医師会の活動が一層の発展を遂げ、地域の健康への取り組みが継続されるために微力ではございますが協力を惜しみません。

最後に、心からの感謝の気持ちと敬意を込めて、ご支援とご協力、本当にありがとうございました。退任の挨拶とさせていただきます。

敬具



前監事 久保田 正

6年3名の会長の下、監事として関わらせて頂き、この度、退任する事になりました。

監事として十分に職責を果たせたかを鑑みると反省することもありました。

旧緑区歯科医師会、浅野先生執行部から理事として参加させて頂き、青葉区歯科医師会、鳥居執行部に至る40年近くにはわたり、自分なりに会に良かれと思い協力したつもりでおりますが、本当にお役に立てたのか、迷惑をおかけしたのではないかと自問自答の日々でおります。

最近、理事会においても、役員の先生方と自分との常識・価値観の違いに驚くことが多くなりました。今後は新たなジェネレーションが、その創造力を持って歯科医師会をますます発展に導いてくださることを信じ、今後は一会員としてご協力させて頂く所存です。

長期にわたり（長すぎ）ご協力、ご指導頂いた会員の先生方に、心より感謝申し上げます、退任の挨拶とさせていただきます。



前監事 藤尾 昭

令和元年度、山本昭二会長の時に監事を拝命してから2期4年、前任の久保田 正 監事と大過なく任を終えることができました。この間、covit19 コロナウィルスのパンデミックにより、思うように会務が出来ない中で理事職を担当し、運営をされた理事諸兄に、会員を代表して感謝とお礼を申し上げます。また、パンデミック中にも拘らず会務の滞りのない進行のために1日の休みもなく出勤してくれた事務員の荒井さんに感謝します。この文を書いている令和5年6月末において、コロナ感染症対策委から、感染拡大は第9波の入り口に立っていることの発表があり、本会連携室も多大な影響を被りましたが、鳥居会長の2期目は活動の制限が少ない事を祈ります。増田紀男初代会長に繋がる青葉歯会の9世の光陰をうたた輝かせ、積乱の雲のごとき先駆の動きを新執行部の手で翳してください。